

【北海道新得 つっちゃんと優子の牧場のへや】



家の前には大きな看板 小さな手作り看板 客用の玄関は家用と別に



玄関を入るとすぐ寝室 奥はユニットバス キッチン完備のリビング



夕食は家庭料理。各自の皿に少しづつ盛ってあり（左写真）、あとは各自が大皿（写真右）でとるスタイル。朝食はパン焼き器で作った道産小麦使用自家製パンと自家製バター・ジャム。他にスープとサラダ。

2世帯住宅がベースなので客室は独立した作り。築年数は10年以上経つがきれい。特に、シーツ・タオルなどのリネンがきれいだと全体も清潔さを感じる。本やCDを並べたり絵や小物を飾ることで、雰囲気もお洒落になる。リビングと寝室は壁で仕切られているがワンルームに近い。

食事は食堂で農家・お客が一緒に。初期のお客さんから「各自のお膳でかつ量が多いと残しづらい」と言う声があり、大皿から各自がとるスタイルに。食材は自家菜園と近所・知り合いのものを使用。メニューは自分達が普段食べる家庭料理で問題なし。滞在中はお客に過度に近づこうとせず（お客から要望がなければ体験メニューなどを提供する必要はない）、農村生活をのんびりと過ごしてもらおうのが一番とのこと。

【新潟県津南 農家民宿サンベリー】



2階建ての母屋の2Fをお客用スペースに



客室は2部屋あるが1日1組限定に



織物や染物が体験できる部屋



リビングで一緒に食事



夕食は天然酵母の手作りパンと自家製ジャムを中心に。豆腐ハンバーグや漬物の他、雪下にんじんのスティック。デザートにニンジンのゼリー。



朝食は飼っている鶏の卵の他、シャケや納豆、豆の煮物など和風のメニュー。

もともとは織物や染物の教室を2階でおこない、遠くから来た方の為に寝室を用意していた。平成17年にそのまま民宿登録。現在までに600名程が宿泊している。内訳は子供のいる家族層とシニア層が多い。宿泊者のうち、体験（パンづくり、織物・染物、農作業など）に参加するのは全体の約30%。のんびり過ごしている方が多い。本業は水田や野菜等の他、にんじんやブルーベリーを栽培。食事はほとんど自家栽培のものが並ぶ。宿泊代は6,000円（新潟では修学旅行受入もこの料金とのこと）。